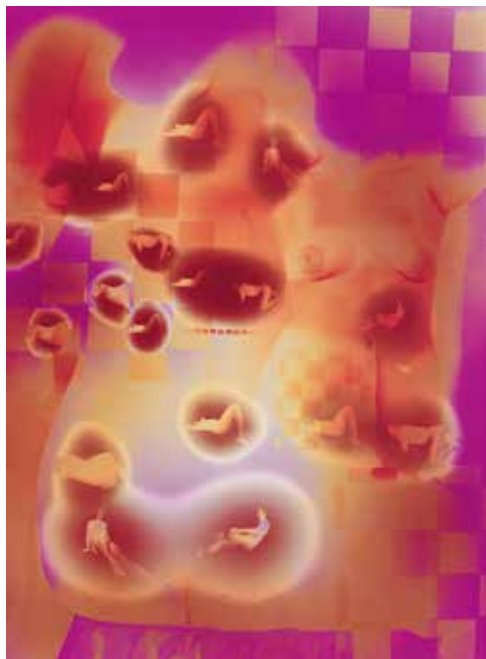


**London, Cologne, Berlin, Moscow,  
Abu Dhabi, Manila,  
New York, Sharon,**

# WORLD NEWS



左上—Cko 6 1966  
Cプリント 19.4×23.9cm  
左下—Cko L5 1967  
Cプリント 26×33cm  
右—Cko L9-V2/3 1966  
Cプリント 34.1×25.2cm  
© Kunié Sugijura



## 2人の在NY日本人アーティストによる それぞれの時代と物語

9月に入ると、夏休みの高揚感も冷めやらぬまま、NYアートシーンの新シーズンが幕を開けた。その中から今回は、日本人オーナーが運営する2つのギャラリーで開催された、在NY日本人アーティストの個展を紹介したい。

アップパー・イーストにあるタカ・イシイギャラリー ニューヨークでは杉浦邦恵の個展「Cko 1966-67」が開催中だ。これは、50年以上NYで創作活動を行っている杉浦が、シカゴのアート・インスティテュートに在籍中だった1966年から67年にかけて制作した約50点のカラー写真のシリーズの中から15点を厳選したもので、半世紀を経て初めてまとまった形で展示したのだという。

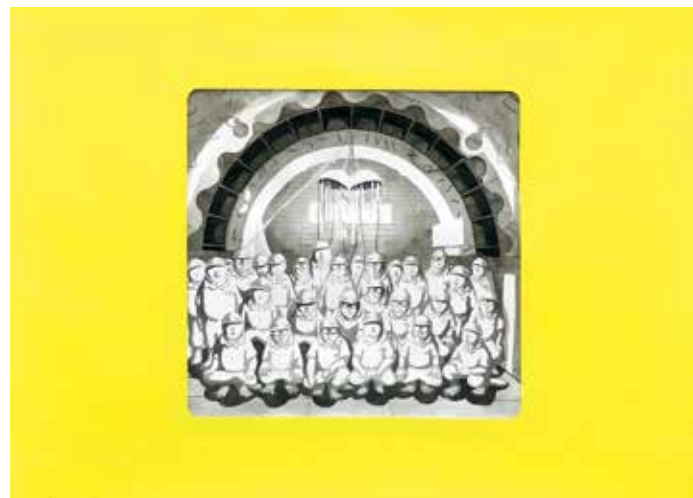
魚眼レンズを覗いて、静かに見つめるようにクローズアップした身体、鮮やかなマゼンタとハレーションのコントラスト、フィルムを重ねて焼き付けるフォトモンタージュ。プラスチック紙ではなく

印画紙であるため、表面の質感も柔らかく美しい。デジタル写真が主流となった現在においても、だからこそかもしれないが、ぐっと惹きつけられるイメージだ。

杉浦に当時の作品を現在の目で見てどう思うかと聞くと「いま思うと少し幼稚ね」と笑ったが、カラー写真の普及や写真の多様化が進んだ60年代、現代美術としての写真の黎明期に新しく習得した技術で試行錯誤を繰り返し、自らの表現をしかも夢中で高めていった軌跡が、一つひとつの作品から伺える。

シリーズのタイトルである「Cko」は魚眼レンズで切り取った形＝弧なのだという。小さな格子を焼き付けて現れた市松模様や、フィルタを駆使して引き出された濃紫は、無意識ながらも日本的なノスタルジアを反映しているようで、遠く離れた異文化の中で創作に向き合う杉浦の姿＝孤に、思いを馳せさせる。

いっぽう、ローワー・イーストサイドに



上—未来の労働者 2017 紙に墨、アクリル絵具 55.9×76.2cm  
下左—《ドリーム・トンネル》(2017)の展示風景  
下右—写真右は《入坑氏名表》(2017)  
© Gaku Tsutaja ; Courtesy of Ulterior Gallery

昨年オープンしたウルテリア・ギャラリーでは、米国初個展となる蕨谷楽の「The Kingdom of Kitai」が始まった。

本展は、蕨谷が創作した架空の物語を、9チャンネルのサウンド・インスタレーション(ギャラリーのウェブサイトで試聴可)や彫刻、ドローイングなど、異なる技法を用いて多角的に見せる試みだ。物語の土台になったのは、かつて土木技術者として60年代から日本各地の土木事業や原発建設に従事してきた父親の話だ。東日本大震災の後、蕨谷の父はの総指揮者として復旧を早めるための新設道路の建設に半年間携わっている。福島から戻ってきた父に聞いた、現場の様子や仕事の話为契机に、高度成長期に日本のインフラを築いてきた当時の話を何度も尋ね、モグラ、ビーバー、グラウンドホッグたちが働く「Kitai」という王国、独自の物語世界を構想した。

Kitaiには、期待、機体、気体、奇態の4

つの意味が掛合わせてあり、作品のなかに断片化された物語のキーワードとなっている。《ドリーム・トンネル》では、大きなアルミのやかんと8本の古い木製パイプオルガンのパイプが、やかん、ツルハシ、山、ヘルメット、くす玉など、労働者たちを取り巻く道具や環境を擬人化したキャラクターを演じる。その語り手が管の中で反響しながら聞こえ、トンネル内の臨場感とシンクロする。《未来の労働者》をはじめとするドローイングや《入坑氏名表》などの彫刻は、物語を別の角度から視覚的に捕捉している。

全体として、一本のアニメーション映画を見たような鑑賞経験を得た。一見ポップな作品群だが、世界的に不穏な緊張が走る世相と相まって、「トンネル」の向こう側＝ユートピアという共同体が見る夢にとり憑かれた王国の描く姿が、そこから脱却したいと思わせる近未来の荒廃を予兆しているようでもあった。

## New York ニューヨーク

原田真千子=文  
Text by Machiko Harada

高谷楽  
「ザ・キングダム・オブ・キタイ」展  
Gaku Tsutaja:  
The Kingdom of Kitai  
9月17日～10月22日  
ウルテリア・ギャラリー  
ULTEIOR  
\* 172 Attorney Street, New York  
Tel. +1-917-472-7784  
12:00～19:00 月火水休